

各支部からの東京都社会的養育推進計画の策定に向けた意見書

令和元年7月8日

東京養育家庭の会

東京都社会的養育推進計画の策定に向けて、東京養育家庭の会の各支部から上がってきた意見をお伝えしますので、ご検討ください。

児童相談所及び里親支援関係

- 里子の未解決事案で何年もかかっている中、子担が度々代わってしまうためなかなか前進しない。今までの経緯を始めから説明しなければならない。子担の任期を長くしてほしい。
- 子担は年に一度子どもを見に来るだけで養育計画をたて措置権を持つ。子担の必要性を感じない。親担と子担一緒の方が児相の負担も減るのではないか。
- 里親支援専門相談員が里子とよく関わってくださるようになり里親子の状況をよく理解したうえで相談にのってくださるので大変助かっている。チーム養育の継続とともに子どもとの信頼関係を重視して担当者が継続的に関わり続けることのできるシステム作りを望む。
- フォスタリング機関との連携による高度な里親ソーシャルワーク展開のため着実な布石を打っていただくこと。体制変更にあたっては十分な予算・人員配分と東京養育家庭の会幹部含め多方面へ丁寧なヒアリングを行っていただくこと。決定した制度変更については都度迅速に公開いただくこと。
- 里親担当の児相職員に施設実習をしていただき、里親と同じような経験を多少なりともしていただきたい。共感性が乏しく育児書のようなことしか言わない。(別添参照)
- 里親支援専門相談員に理解して頂いても判断は児相がすることになっているため、また

一から説明しなくてはならない。現場をわかっている里親支援専門相談員の意見を尊重して話し合って結果を伝えてほしい。(別添参照)

- 乳児院など施設から里親への委託は早めにしていただきたいです。施設で大事に育てられた里子さんですが、環境の変化の負担が大きいと思います。
- 養育里親制度の説明を小中学校の教職員の研修に義務化していただきたい。
- 精神科受診のハードルを下げたいと思います。精神科疾患かどうかわかりませんが、里子さんの権利だと思います。里子さんの精神的苦痛の判断は過敏になってしまうこともあり得ますが、寝食を共にする里親の判断を尊重して欲しいと思います。
- 知能検査を児童相談所経由で受けると、その結果を里親は簡単には受け取れません。親担当や心理士が概要を伝えてくれるだけです。日々の子どもの養育を担当する里親にフルに結果を共有されない検査には意味がありません。

家事育児支援

- 家事育児支援派遣を使いやすく、原則3日前までに申し込み、葬儀など緊急の場合で人の確保が可能ならば、当日でも可にしていただきたいです。1社では対応できかねる場合も考えられるので、3社くらいは登録業社を増やしていただきたいです。また、登録者としてファミリーサポートの活用を検討して下さい。

[現状：初回⇒14日前まで(土日祝年末年始除)、2回目以降7日前まで(土日祝年末年始除)]

- 家事育児支援が現在年間24時間迄となっていますが、未就園児を委託中はお願い出来る時間をもう少し増やしてほしい。
- 24時間を超え、民間のシッター会社を利用した場合、里親の通院など預ける理由によっては、シッター料金の補助をお願いしたいです。

グループホーム関係

○グループホームを家庭的養護にカウントして誤魔化さないでほしい。グループホームは家庭ではなく施設である。

自立支援関係

○児相ごとに里子専門の自立コーディネーターを付けてほしい。

○措置延長を大学卒業まで認めてほしい。

一時保護関係

○里親家庭に緊急一時保護依頼が増えているが、一時保護の場合レスパイトや保育が使えない。使えるようになれば緊急一時保護でも預かれる里親が増えるようになると思う。

○乳幼児を一時保護委託する時、必要になる物を届けてほしい。

(哺乳瓶、ミルク、紙オムツ、チャイルドシート等、)

○一時保護委託児童を複数同時に預かると費用がかさむので早めに手当てがおりるとありがたいです。

里子の生活費関係

○中学生が里親家庭に受託されると同時に転校することとなった場合、制服、体育着等指定の物を買そろえねばならず費用負担が大きい。実費を支弁してほしい。

○小学生、高校生の塾代も必要に応じて実費で支弁してほしい。

○発達支援のための塾などの費用の助成

○中学生の給食代をお弁当でも出るようにしてほしい。

○修学旅行費を実費で支弁してほしい。

○修学旅行以外の宿泊学習費も支弁してほしい。

○中高生の里子の場合、洋服、食事等全てに小学生よりお金がかかるので里親手当を見直してほしい。

- 交流期間中の交通費としての補助金は金額も固定されていて回数も上限が決まっている。
正式委託を目指して頑張っているのもう少し何とかしてほしい。
- 幼稚園の延長保育代を支給してほしい。
- 高校生の通学定期代を別途支給してほしい。
- 自由に高校で部活ができるように部活動の費用を支給してもらいたい。
- 大学受験料の補助を1校から複数校にしていきたい。

〔別添〕

要望事項

里子は愛着障害や発達上の問題など様々な問題を抱えていることがありますので、それに伴い里親は子育て経験のある方でも想像しにくい里親特有の悩みを抱えております。それを理解していただける場所は限られており、日常では里子が問題を起こした際など事情を知らない人からお叱りを受けることもあり、里親は育児に不安や孤独を感じております。

これまでも里親のサポートとして実際の養育現場で経験を積んでこられた乳児院や児童養護施設の職員の方や先輩里親が相談に乗ってくださるなど、様々な手当てをしていただいております。

しかしながら例えば食事に問題を抱えているとしますと、「メニューや食べさせ方または食事の量を工夫しても里子が食事に集中できず何時間もかかる」「時間を決めて切り上げようとするとも里子がパニックになってしまう」、こういうことが在った時に愛着の問題なのか発達の問題なのかかわからず専門の医師の診察を希望しても、児童相談所の担当の方に里親特有の悩みについて経験のない場合、育児書通りの意見しか言わず、言われるような試行錯誤は既に試しているにも関わらず、専門の医師の診察を受ける承諾を児童相談所からなかなかもらうことができません。里親としては里子の生きにくさを解消してあげたいと考えてできることをしてあげたいと思っても、児童相談所が壁になって課題を乗り越える機会を逃してしまうことになりかねません。

以上のことから次の2点を要望させていただきます。

- 1、 里子担当、里親担当の方には、里親の悩みに共感していただくために乳児院や児童養護施設で実習をしていただきたい。実際に課題を抱えた子どもたちの育児を経験して里親の日々直面する困難を想像する力を養うことによって里親とのコミュニケーションも円滑になるのではないのでしょうか。
- 2、 里親が里親支援専門相談員に相談し療育について理解していただいても、児童相談所の担当の方に必要ないと判断され手続きをしていただけないこともあります。里親子の状況をよく見聞きしている里親支援専門相談員の意見を尊重しよく話し合っって判断し、里親にきちんと説明していただきたいと思えます。